



後期末アンケートありがとうございました

本日で給食が終了し、明日の卒業式では31名の児童が洛中小学校を巣立っていきます。まだまだ寒い日が続きますが、少しずつ春の訪れを感じます。新学年を迎える準備を進めながら、楽しい春休みを過ごしてほしいと思います。1年間、本校教育にご理解ご協力を賜り、まことにありがとうございました。

さて、子どもたちの学校生活を生き生きと楽しいものにするため、また今後の学校改善に役立てるために、後期末にアンケートを実施し、保護者の皆様からご意見をたくさんいただきました。(回収率 71.5%) いただいたご意見を謙虚に受け止め、学校運営に生かしてまいります。回収期間が短かったにも関わらず、ご協力くださいますようお願いいたします。

今回のアンケート結果につきましても昨年度と同様に、内容の似た項目について保護者・児童・教職員三者がどのように違うのか、あるいは似かよっているのかを抜粋して紹介させていただきます。

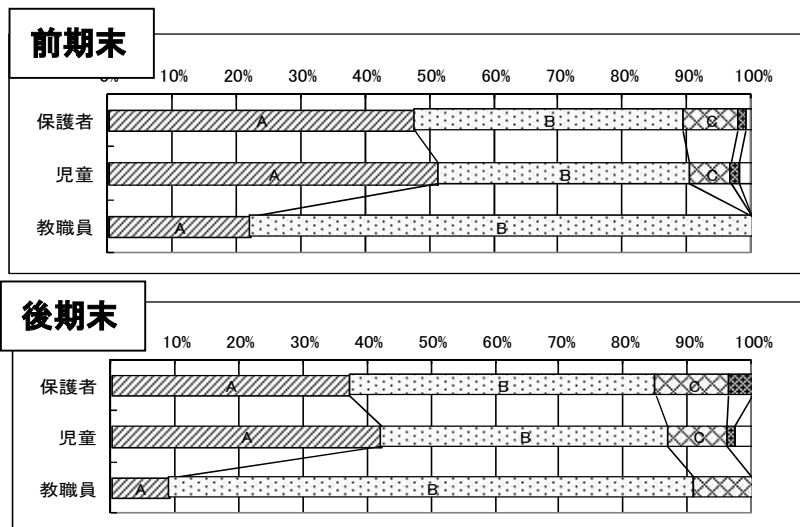
保護者 113名 児童 152名 教職員 13名

A=できている B=どちらかといえばできている
C=どちらかといえばできていない D=できていない
(無=無答)

① 子どもは授業がわかると話している。(保護者)

授業はよくわかりますか。(児童)

教材研究・教材作成に努め、一人一人にわかる授業を工夫している。(教職員)



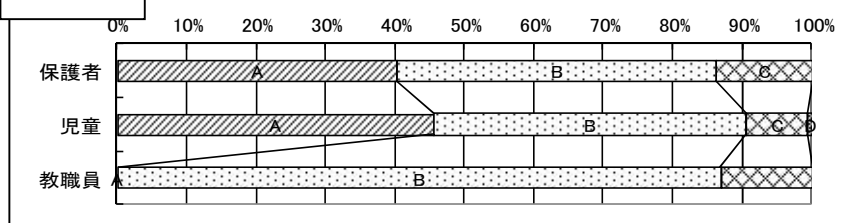
保護者・児童・教職員とも評価が下がりました。この結果を真摯に受け止め、児童の理解を確かめながら「わかる授業」「できたと思える達成感」を大切に授業を改善していきたいと思います。特に高学年では授業中だけではなく、家庭学習も活用して学力の定着・向上を目指したいと思います。

② 子どもは家で宿題や復習などはできている。(保護者)

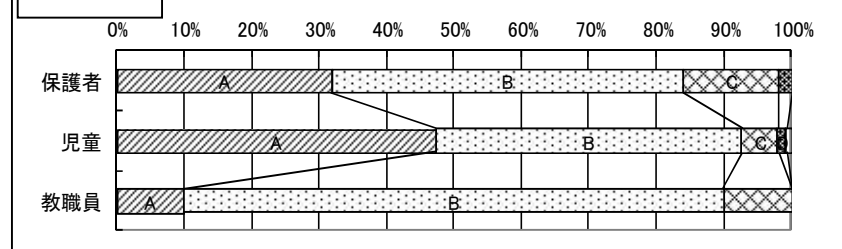
家で宿題や復習などはできていますか。(児童)

家で宿題や復習などができている。(教職員)

前期末



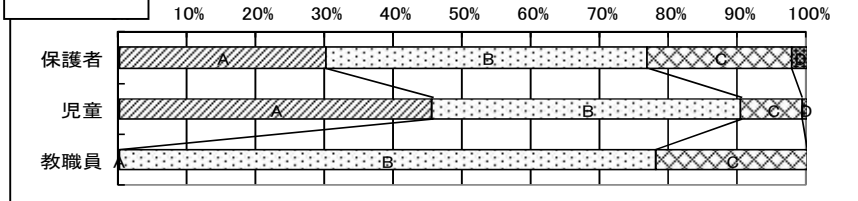
後期末



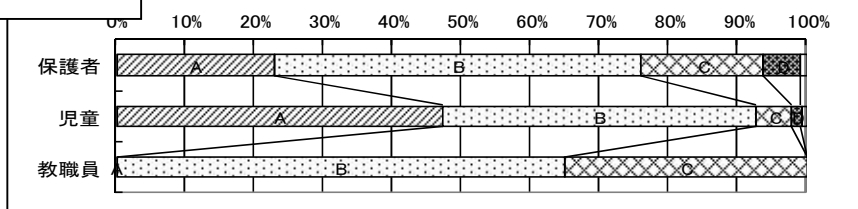
家庭学習は授業の復習や、基礎基本の定着に大変重要です。各クラスで宿題を忘れてくる児童が固定化してしまっているように思います。教職員の年間反省では、最後までやらせきる根気強い指導が必要であるということが出ていました。取組の成果は少しずつ出てきてはいますが、決まったことを確実にやった上で、自主的に学習をしていく児童を育てていきたいと考えています。

- ③ 子どもは忘れ物をしないで登校している。(保護者)
学習用具は忘れずに持ってきていますか。(児童)
学習の用意ができています。(教職員)

前期末



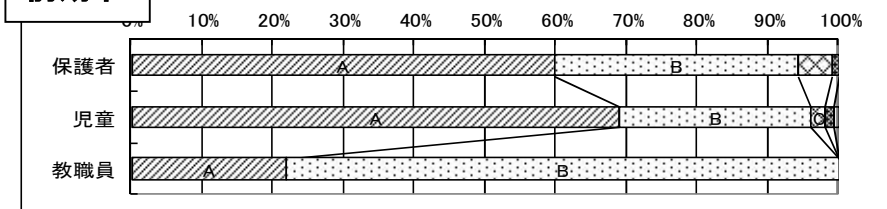
後期末



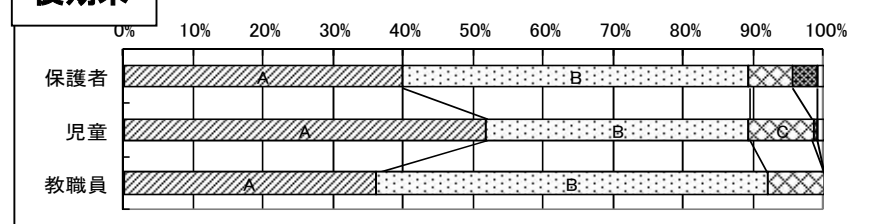
児童の評価は少し上がりましたが、保護者・教職員の評価は下がりました。ご家庭と連絡を密にして、成功体験を増やし、学習準備をしっかりした上で登校できるよう指導していきたいと思います。出かける前の声かけなどぜひご協力をお願いします。また、落とし物も多いことから持ち物を大切にする指導も継続していきたいと思います。

- ④ 教職員は子ども一人一人を大切にしている教育活動を行っている。(保護者)
先生は一人一人のことを大切にしてくれていると思いますか。(児童)
子ども一人一人をしっかり理解し、個に応じた指導ができています。(教職員)

前期末



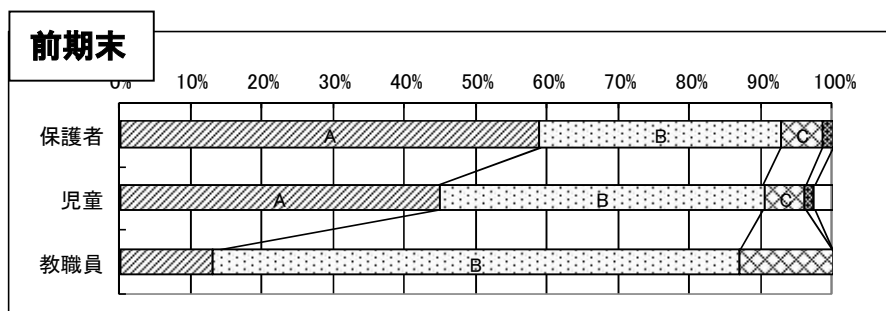
後期末



児童・保護者・教職員共に評価が下がりました。担任は定期的に児童の実態や自分の取組を交流して、全校体制で児童に関わっています。今後も一人一人の課題を確認しながら児童に合わせた指導をしていきたいと思います。高学年児童に「大切にされていない」と感じる児童が多かった事を反省材料として、指導の意図や、

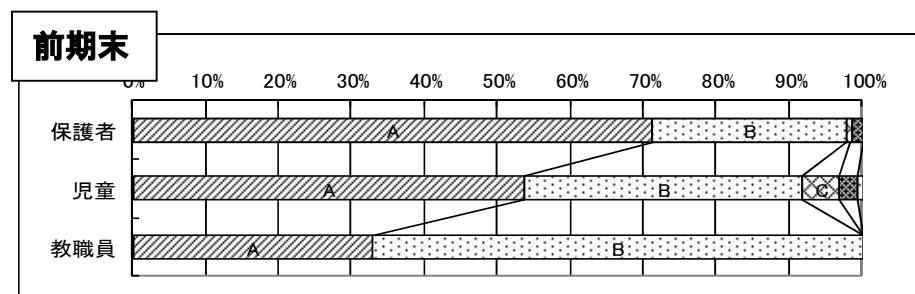
児童への思いが通じる話をしていきたいと思っています。

- ⑤ 教職員は、子どもが意欲的に取り組めるよう指導に努めている。(保護者)
 授業中は話をしっかり聞き、学習に取り組んでいますか。(児童)
 子どもたちはしっかり話を聞き、意欲的に学習に取り組んでいる。(教職員)

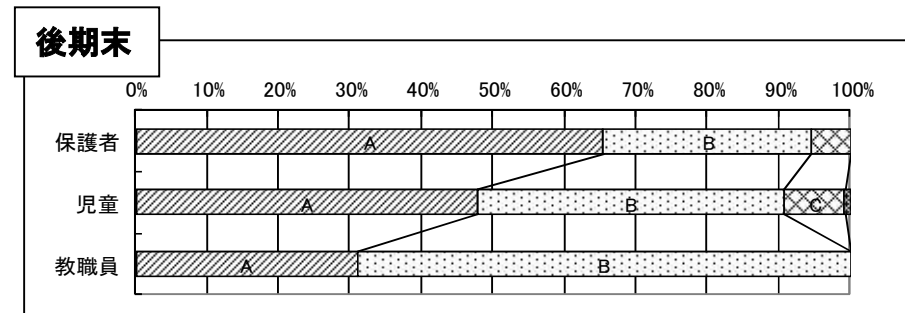


教職員の年間反省でも児童が話を聞けない、という実態について重点的に取り組む必要がある、ということが出ていました。人の話を聞くということが相手を大切にするということにつながっていることをもっと強く指導していく必要を感じています。学習態度をしっかりと身に付けさせるとともに、児童が意欲的に学習できるようにさらに授業改善にも取り組んでいきたいと考えています。

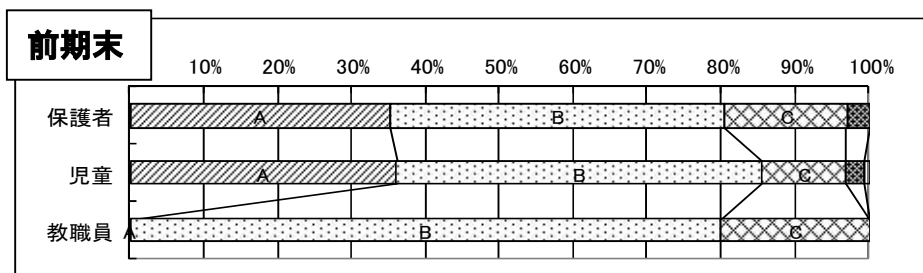
- ⑥ 子どもは毎日楽しく学校生活を送っている。(保護者)
 学校生活は楽しいですか。(児童)
 子どもたちは、学校や学級を楽しんでいる。(教職員)



Dの評価が減ったことは嬉しいことですが、全体的には少し評価が下がりました。子どもは学校生活の中で様々な事を体験し、いろいろな感情を経験して成長しています。大きくつまづかないように見守り、配慮しながら人の気持ちを考え、お互いを大切にできるようご家庭と連絡を取りながら進めていきたいと思います。

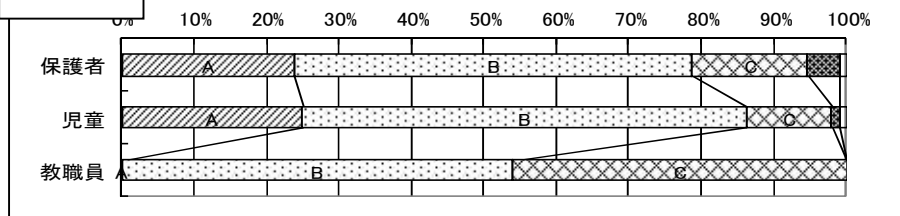


- ⑦ 子どもは元気にあいさつができる。(保護者)
 元気のよいあいさつができますか。(児童)
 子どもたちは、元気にあいさつができるようになっている。(教職員)



「挨拶ができない」ということを地域の方からもよくお聞きします。学校でも繰り返し指導してきているのですが、成果があがっておらず本当に残念です。

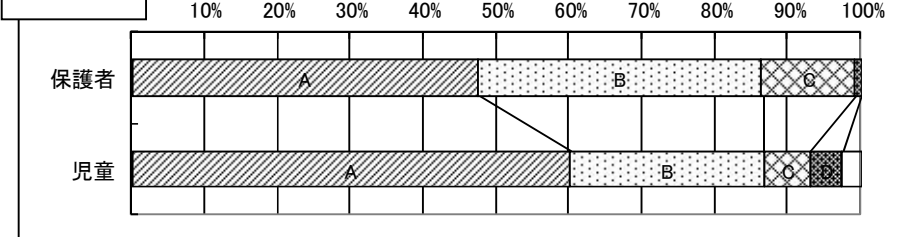
後期末



挨拶がコミュニケーションの第一歩であり、相手を大切にする、という人間関係を築く基本であると考え、今後も指導を続けます。ご家庭でのご協力も引き続きよろしくお願いいたします。

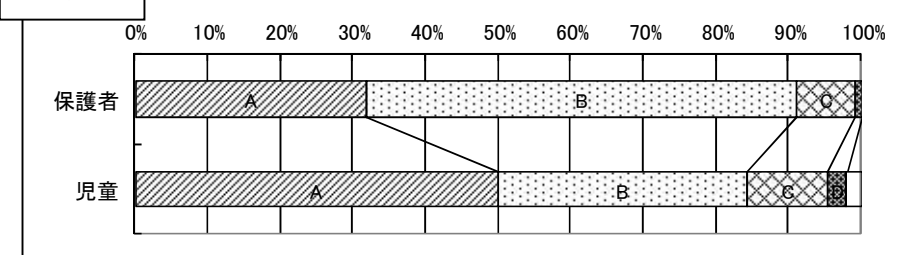
- ⑧ 子どもは家庭で学校のことや友だちのことを話している。(保護者)
家で、学校であったことを話しますか。(児童)

前期末



A B評価を合わせるとあまり変化はありませんが、保護者・児童共にA評価が減りました。子どもが話したいタイミングと親が聞きたいタイミングがずれていた、ど

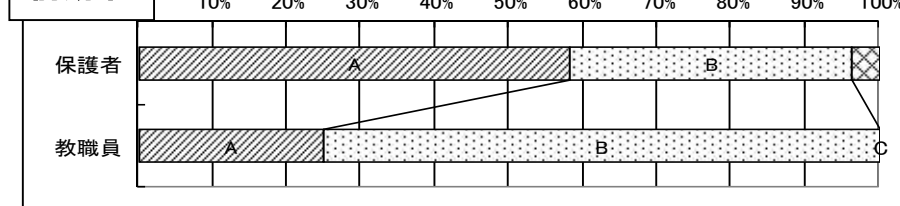
後期末



ちらかからの一方通行になっていることはないでしょうか。子どもの話すことで気にかかることがありましたらぜひ学校にお教えください。

- ⑨ 学級は、明るくあたたかい雰囲気、子どもは学級集団になじんでいる。(保護者)
いじめや仲間はずれのない学級作りを重点にした取組ができている。(教職員)

前期末



90%のA B評価はいただきましたが、前期よりも評価が下がりました。

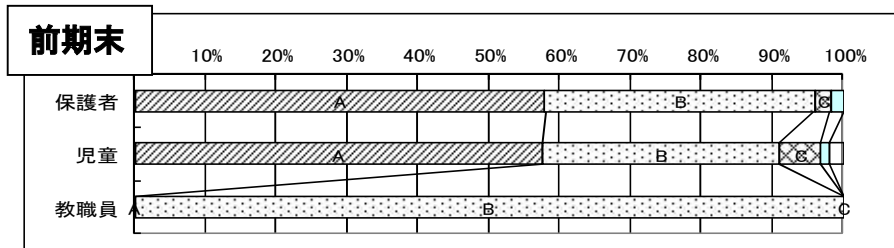
失敗してもからかわれない、間違っても笑われない、そんな安心したクラスを作りたいといろいろな取組をしていますが、教職員の自己評価も、まだ成果が出ていない、という反省の気持ちが出ているのだと思います。一人一人は優しく思いやりのある児童が多いので

ですが、友だちと一緒にいるとついついふざけたり、悪いことだとわかっているけど友達のことを注意できなかったりする児童が多いように思います。道徳や各教科の学習の中で友達の良いところを見つけたり、人権について話し合う時間を取ったりして、お互いを認め合い、励ましあったり、注意しあったりできる学級を作れるよう来年度も引き続き取組を進めたいと思います。

⑩ 学校は、あたたかい思いやりのある心を育てる活動に取り組んでいる。(保護者)

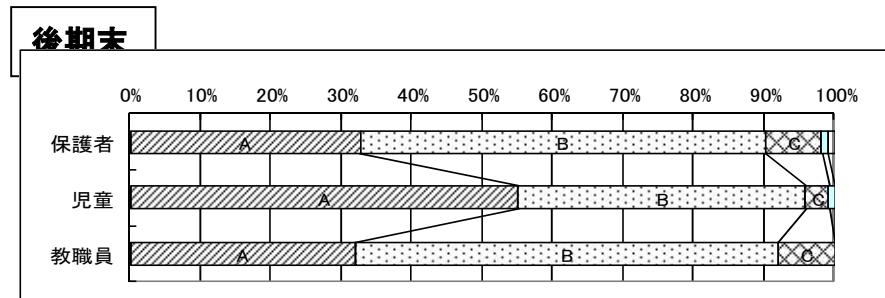
友だちにやさしくできていますか。(児童)

子どもたちに思いやりのあるやさしい心が育ち、実践力が身に付いてきている。(教職員)



児童の評価は上がりましたが、保護者・教職員の評価が下がりました。本校では縦割り活動で高学年児童が低学年児童に優しくする姿を見せてくれてい

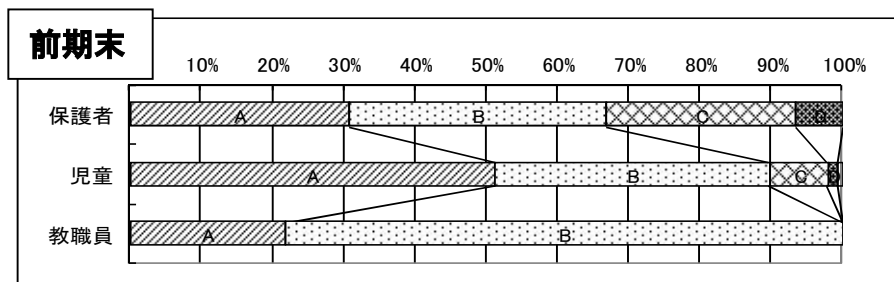
ます。しかし、クラスの中では担任の目指している姿には至っていないと考えられます。保護者の方からの厳しい評価を激励と受け止め、子どもたちの様子をきめ細かく見ていく取組をさらに進めます。



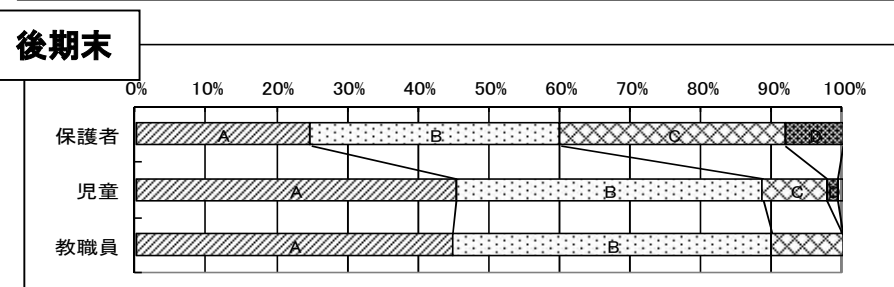
⑪ ノーテレビ・ノーゲーム・読書デーに取り組み、本を読んでいる。(保護者)

毎月、ノーテレビ・ノーゲーム・読書デーに取り組み、本を読んでいますか。(児童)

おはよう読書や本かばんの活用、毎月のノーテレビ・ノーゲーム・読書デーの取組で、子どもたちは進んで本を読むようになってきている。(教職員)



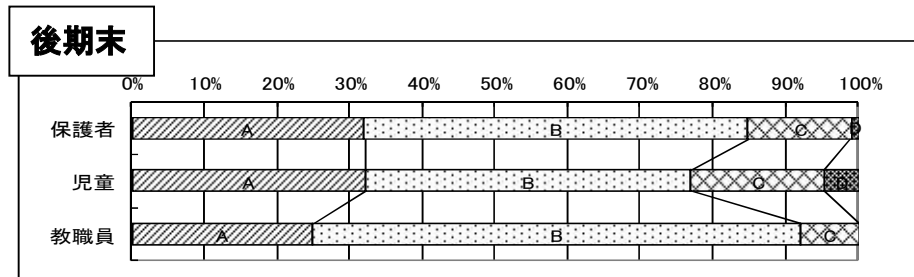
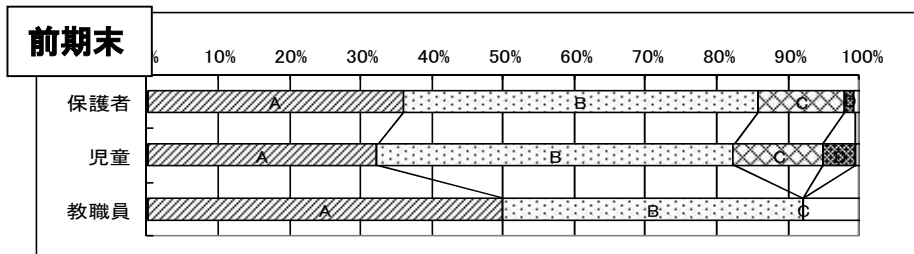
子どもたちの放課後の生活が忙しくなって、特に高学年ではじっくり読書する時間をとれないということをよく耳にします。学校では少しの時間を利用して本を読む姿をよく見かけます。「読まなくてはいけない」というより「読みたい本に出会える」よう援助していけたらと思います。保護者の方と一緒に本を読む時間をぜひ作ってください。



⑫ 子どもは好き嫌いせず、バランスのよい食事をしている。(保護者)

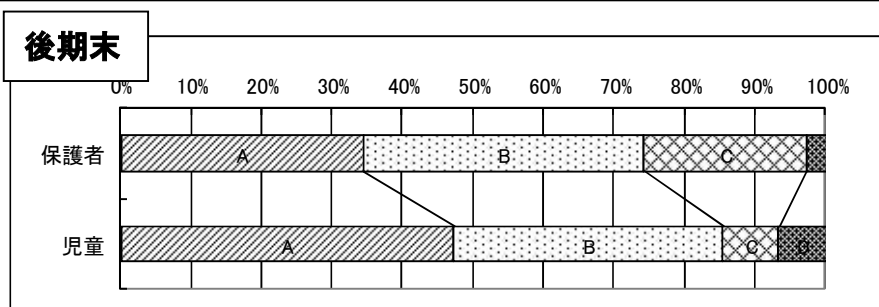
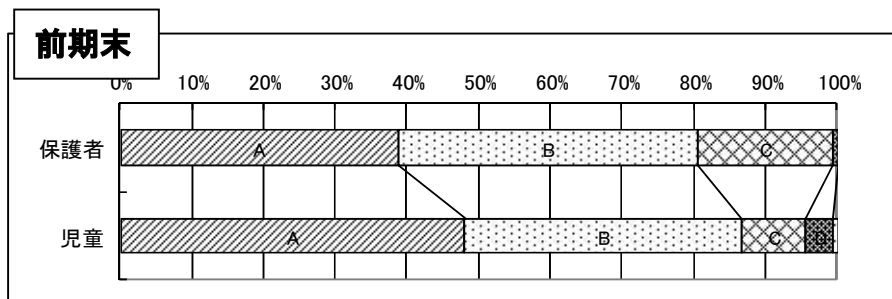
学習したことを生かして、好き嫌いせず(バランスよく)食べていますか。(児童)

子どもたちの食に対する関心が高まり、健全な食生活の実践力が身に付いてきている。(教職員)



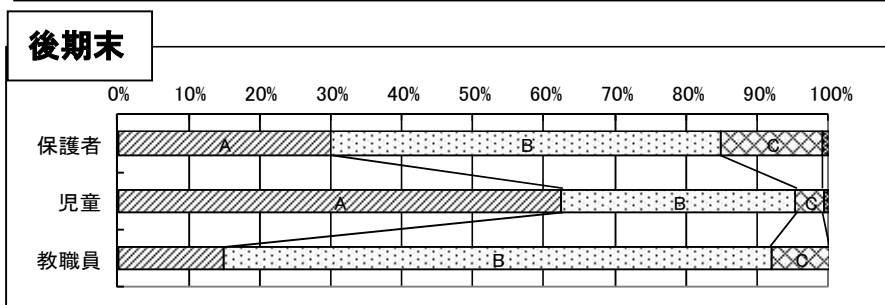
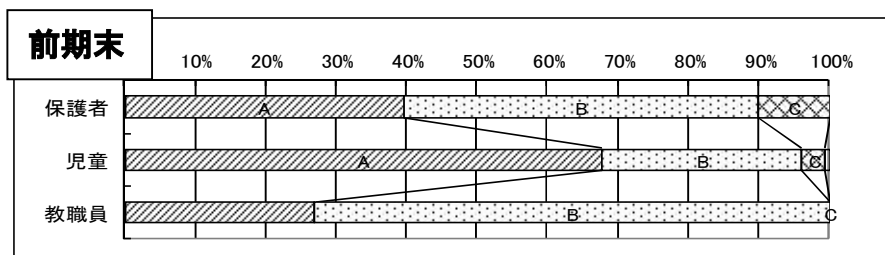
前期よりも、給食の残菜は減っています。1年生も給食をもりもり食べています。栄養教諭より給食の時間を利用して栄養の話や食物の話をしています。知識としてわかったことが日常生活に活かせるようこれからも指導していきたいと思っています。ご家庭でも自分の体を作るもの、という観点でバランスのいい食事についてご指導ください。

- ⑬ 子どもは放課後や休日に運動や外遊びをしている。(保護者)
放課後や休日には、運動や外遊びをしていますか。(児童)



保護者のC D評価が増えました。寒いので放課後などに外遊びをする児童は減っているのでしょうか。温かくなってきたので、放課後などにも遊ぶ姿がたくさん見られるようになってきました。運動嫌いにならないようクラス遊びなどで楽しく体を動かせるようにしたいと思います。部活動にもたくさん入ってくれるといいなと思います。

- ⑭ 通学路や通学方法を把握し、登下校時の安全や緊急時の連絡方法などについて子どもと話し合っている。(保護者)
通学路を守り、安全に気をつけて登下校していますか。(児童)
安全についての指導が計画的にできている。(教職員)



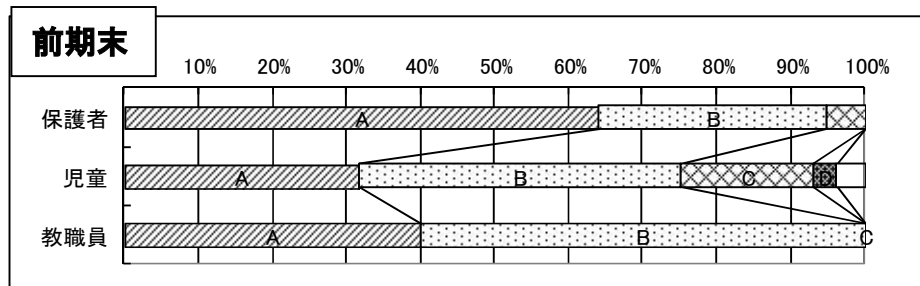
先日のシェイクアウト訓練では、大人のいない場面でも自分の体、頭を守って行動することができました。また、今年度もたくさんの方に見守っていただいたおかげで大きな事故もなく、無事に登下校することができました。ありがとうございます。教員間では、廊下を走る行動についてより厳しく指導していこうという話が出ました。「なぜいけ

ないのか」理由をしっかりと考えさせた上で、言い続けていこうと決めました。安全の意識をさらに高めていきたいと考えます。

⑮ 教職員は保護者の話によく耳を傾けてくれる。(保護者)

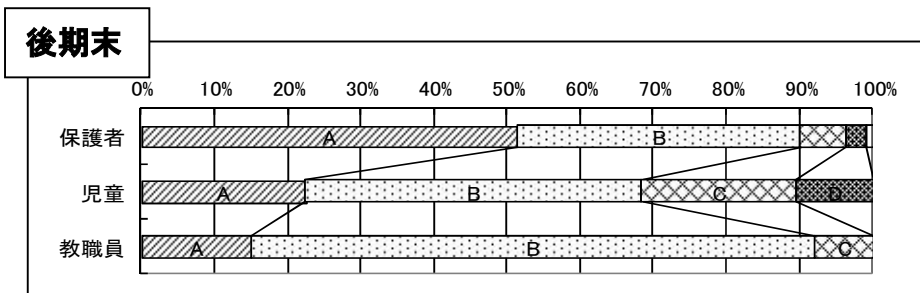
困ったときには先生に相談しようと思いますか。(児童)

子ども・保護者の思いや願いを受け止め、気軽に相談ができるようにしている。(教職員)



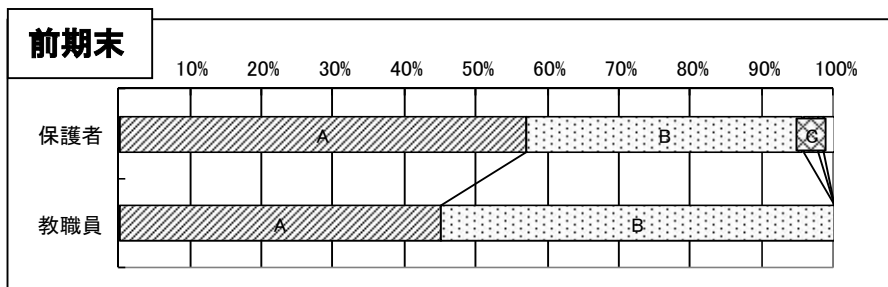
A B評価が減り、C D評価が増えました。④の項目と関連して反省しなければいけないことだと考えます。児童の中には先生に相談す

るような内容がない、という子どももいますが、教育相談などを通して、児童の気持ちに寄り添えるような聞き方を心掛けていきたいと思います。

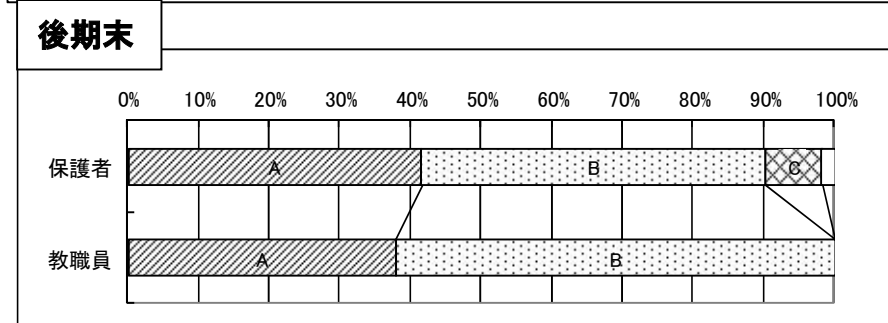


⑯ 学校・家庭・地域が連携し、子どもの健全育成に努めている。(保護者)

様々な取組や行事を通して、学校・家庭・地域が連携し、子どもの教育にあたっている。(教職員)

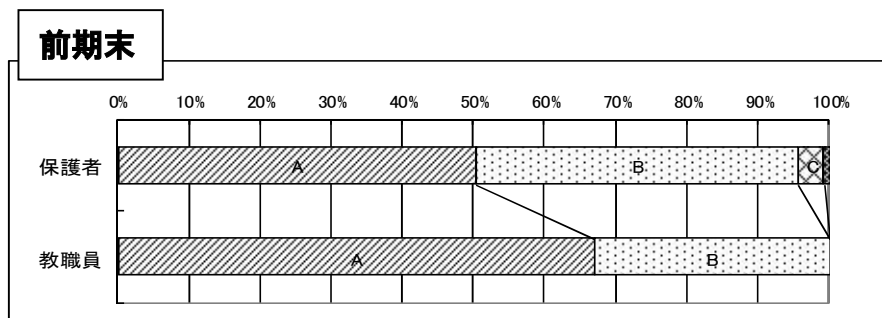


今年度も地域の方にご協力いただいているいろいろな取組を行うことができました。子どもは学校、地域、家庭が連携して同じことを教え、導きたいと考えています。子どもの姿をまん中において、大人が協力し合える間柄になるようにこれからも取り組み、子どもの変容を共有していけたらと思います。

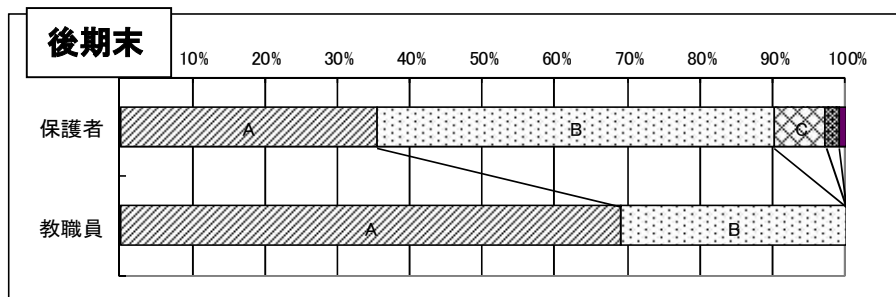


⑰ 子どもや学級・学校の様子が、連絡帳や各種たより・学校ホームページなどからわかる。(保護者)

学校情報の発信ができています。(学校・学級・保健・給食だより、ホームページ等)(教職員)



前項目と合わせて学校のさまざまな取組を広報していくことでその意義や子どもの変容を共有できると考えます。ホームページを始め、学級だよりで児童の様子をお伝えしてきていますが、まだ不十分に感じて



おられることがわかりました。今後とも努力してまいりますのでぜひご意見をお寄せください。

<保護者の方のご意見・ご要望など>

- * 子どもの言葉に耳を傾け、親身になっていただいていると思います。大人と子供の一線を画したかわりも大切かと思います。
- * ノーテレビ・ノーゲーム・読書デーに「家読」をするのが不可能です。きっちりと取り組んでいますが、せっかくの日に本や感想文に追われ、団らんの邪魔になっていると感じます。
- * 朝の立ち番をしていて思う事ですが、ここ1、2年挨拶ができる子が減ったのがとても気になります。
- * 最近の中学生の事件をみてやはり地域で子どもを見守っていくことの大切さを改めて感じました。トラブルに巻き込まれた時、どのように周りの大人がサポートしていくのか、何かが起きてからではなく、通常的生活の中で当たり前の関わりとして定着していくことが望ましいように思われます。
- * 学習発表会では児童の全校合唱を楽しみにしてきましたが残念でした。児童主体の学習発表会を期待します。
- * 勉強する意欲をもたせる教育をお願いします。
- * 毎日笑顔で楽しく学校生活を送らせていただき先生方に本当に感謝しております。
- * 参観の時、お母さんたちがお話しているのがとても気になります。子どもも集中できないと話していました。話すなら外で話していただくように先生方から言ってください。
- * 単学級ということで不安もありながらの入学でしたがたて割り活動などを通じて多くの友達ができまた他学年の先生方からも目を配ってくださり楽しく1年を過ごせたようです。
- * 6年間ありがとうございました。様々な出来事を先生方やお友達と乗り越えて子どもなりにではありますが大きく成長してくれたことと感じます。大切な時間を多くの皆様方に支えていただいて新たに出発する自覚をもち、次へとつなげてほしいと思います。

<学校運営協議会の方のご意見>

- * 英語活動ではネイティブスピーカーの発音に慣れることが大事だと思うので来年度もそういうことを意識した取組を続けていってほしい。
- * ①に関して先生方は遅くまで教材を作成したり、研究したりされているように感じるが、単級ということですべてを一人でやらなくてはいけないことがあるのかもしれない。→コンピュータの活用や他校の先生との交流などで効率よくできるよう工夫しているが、まだ不十分であると感じているのではないか。もっとできるのでは、という思いからの評価になっていると思う。
- * 最近の色々な事件を考えると、常に保護者と学校がコンタクトをとって児童の様子を把握することが大切だと思う。ことが起こってからでは遅いので。→大人に言えないことを子どもが抱えていないか、児童観察が一番大事だと考えている。もちろん報連相による学校全体での観察も行っている。
- * 昨年は「学校が楽しいと感じている児童」は60%だった。前期よりは確かに落ちているが90%の児童が楽しいと感じていることはいいことだ、先生方が明るくないと子どもが明るくならない。先生方に明るく元気でいてもらいたい。
- * ①については、各家庭の事情もある。テレビを見ている親の横で本を読むのは難しい。→ノーテレビ・ノーゲーム・読書デーはもともと京都市PTA連絡協議会の月一回の家族だんらんの取組を読書推進と絡めて取り組んでいるものだが、家庭事情に合わせて、「月一回は家族で本を読む」など、テレビやゲームから離れて過ごそうということに取り組めたらいいのではないか。